

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	紹介議員氏名	付 託 委員会名	議決結果
26年 第19号	26.10.31	<p>医療費助成制度を高校卒業（18歳）まで無料化を求める請願</p> <p>【請願趣旨】 子どもたちが安心して医療を受けられることは、子育て世代のみならず多くの国民の願いである。 そのため、これまで長年にわたる住民の運動によって、子どもの医療費助成は各地で実施されている。 茨城県でも県民運動により、今年（2014年）10月から、現行の外来・入院が小学3年生までを6年生まで拡充し、入院のみ中学3年生まで拡大されることになった。しかし、窓口での一部自己負担と所得制限は、引き続きのこされる。このためこの助成制度を受けられない世帯も多く、独自に所得制限をなくしている県内自治体は、30市町村に及んでいる。また実施自治体で窓口負担をゼロとしている自治体は、全国で8割弱である。 今、「子育て支援策の充実を」の声は大きな世論となり、医療費助成を高校卒業までとする自治体も生まれている。 については、本県において全国で8番目の財政力を生かし、高校卒業まで医療費助成の拡充（無料化）を求める。 以上、地方自治法124条の規定により下記事項について請願する。</p> <p>【請願事項】 1 窓口での一部自己負担をなくすこと 2 同助成の所得制限をなくすこと 3 同助成の対象を外来・入院の無料化を含め高校卒業までに拡充すること</p>	くらしと平和を守るネットワーク取手 代表 丸山 敏郎 新日本婦人の会取手支部 支部長 鈴木 尚子 外 1,020名	大 内 久美子 鈴 木 聡	保健福祉	不採択